

調布市消防団 広報誌

CVFB

CHOFU CITY VOLUNTEER FIRE BRIGADE

令和3年(2021年)1月10日 通算第12号

第12号



発行/調布市消防団事務局 東京都調布市小島町2-33-1 文化会館たづくり西館3階 総合防災安全課内 TEL.042-481-7348



CONTENTS

第5分団紹介 &インタビュー	P2
調布市消防団表彰	P3
令和3年 行事予定	P4
訓練紹介	P4
消防ポンプ自動車 が新しくなりました。	P4

調布市消防団は、本部及び15個分団体制で消防団長以下304名により構成されており、普段は自営業やサラリーマンなどの生業を営みながら、消防団活動を行っています。

団員は、火災や河川の氾濫、地震などの災害時に市民の皆様の安全・安心を守るために、日夜訓練活動に取り組んでいます。

結ぶに、市民の皆様におかれましては、調布市消防団へのより一層の御理解と御協力を賜りますよう、お願いを申し上げます。また、皆様の今年一年が、より佳き年になることに加え、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を心より御祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

我々消防団は、調布市民の安全・安心を念頭におき、消火活動をはじめ、消防・防災に関する知識や技術を高め、火災発生時とはもとより、地震や風水害といった大規模災害発生時に迅速かつ的確に対応できるよう、消防団員304名全員が丸となって邁進する所存でございます。関係機関の皆様には、より一層の連携強化に御協力を賜りながら、「郷土愛護」の精神のもと、より地域に根差した消防団を目指して参ります。

昨年、新型コロナウイルス感染症防止の観点から例年実施している訓練をやむなく中止をせざるを得ない未曾有の事態となりました。一方で、いつ起こるか分からない災害に対峙できるよう体制を整え、災害への備えが必要であります。このため、近年の豪雨災害や火災の被害を最小限に抑え、市民の生命・財産を守るためにより実践に即した訓練が必要であることから、風水害を想定した救命ボート運用訓練や調布消防署の訓練棟を使用した火災初動対応訓練を新たに実施いたしました。

御礼を申し上げます。



調布市消防団長

小津 浩彦

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より調布市消防団の活動に御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

令和元年の台風19号における我々消防団の防水活動や人命救助に対して消防庁長官表彰や国土交通大臣表彰、そして、内閣総理大臣表彰を受賞いたしました。大変名誉ある賞を賜りましたことに感謝申し上げます。同時に、昼夜を問わず長時間に渡り活動に従事した団員の皆様にも

第5分団紹介 & インタビュー

調布市の各地域を担当する分団の紹介&インタビューです。第8号から1個分団ずつ、活動写真と消防団員の皆さんへのインタビューを紹介していきます。

第5分団は布田2丁目・3丁目・6丁目一部、国領町5丁目一部・6丁目一部、染地1丁目一部・2丁目一部、調布ヶ丘2丁目・3丁目一部、多摩川河川敷一部を担当地域としています。
第5分団の皆さんに、入団したきっかけや、日々の活動等について取材をしました。



分団長 山口 芳明 さん

Q1: 消防団に入団したきっかけを教えてください。

A1 義父が消防団員だったこともあり、先輩方に声を掛けていただいた後、自然な流れで入団しました。

Q2: 消防団の活動について

A2 学校区や町内会・自治会等に対する消防活動、防災訓練等の指導、お祭りやイベントにおける警備、歳末の火災予防の広報巡回をしています。それぞれの生業を営んでいるので夜間や休日の訓練が主になります。いざ火災時は時間日時間問わず、全ての団員が常に駆けつけられないので団員全員が知識、技能を日々高めてそれぞれが必要な役割を果たせるように訓練を実施しております。

Q3: 消防団に入団して、ご自身に変化はありましたか。

A3 地域のひととの絆や助け合いが深まり、多くの仲間ができ、新しい知り合いも増えました。防災意識が高まり火災予防を意識して生活をするようになり、消防防災の知識や技術が身に付きました。

Q4: 地域、そして市民の皆さんにどんなことを伝えたいですか。

A4 生業がありながらの活動は大変な面もありますが、楽しみや意義もあります。しかしながら新入団員の確保が非常に難しく課題となっております。地域への帰属意識や消防団活動に対する理解や評価が高まると嬉しいです。いつ起こるか分からない災害や火災も必ず起こるものと肝に銘じ、地域の皆様や家族の安全を守るように今後も消防団活動を真摯に取り組んで行きます。



団員 松井 陽太郎 さん

Q1: 消防団に入団したきっかけを教えてください。

A1 私が消防団に入団したのは、地元の活動に参加してみたいと考えたことがきっかけでした。私は学生時代からの繋がりで、赤羽岩淵町という街で町おこしのためのボランティア活動を行っていました。そのボランティア活動では地域のコミュニティに参加しながらこういったイベントを行えば地元が盛り上がるかということを行っていました。その活動の中で、自分が育った街も自治会などのコミュニティに支えられているのだと感じ、地元で貢献できる活動をしてみたいと思い入団しました。

Q2: 消防団の活動について教えてください。

A2 消防団の活動では主に消防活動に使用する機材の日常点検や訓練を行っています。まだまだ始めたばかりで覚えることが多く大変ですが、新しいことに挑戦することが多く楽しく行っています。



副分団長 小川 直登 さん

Q1: 消防団に入団したきっかけを教えてください。

A1 入団する前年度から声を掛けていただきましたが、消防団の活動を知りませんでしたので、お断りしておりました。その後、仕事を独立することとなり、人脈や仕事の幅を広げるため入団いたしました。

Q2: 日々の訓練（操法訓練等）、機械器具点検について教えてください。

A2 火災出動の緊急時迅速に対応できるように、火災を想定しての水出し訓練、機械器具の点検、ポンプ車の動作確認や不備の有無など、定期的に点検しております。

Q3: 消防団の魅力ややりがいについて教えてください。

A3 年を重ねるとなかなか新しい出会いもないので、地域の方々、OBの方、団員の仲間、いろいろな方と出会える事は、消防団の一番の魅力だと感じています。

Q4: 消防団活動の中で印象に残っていることはありますか。

A4 実際に延焼中の火災現場に遭遇した時です。火災の恐ろしさ、消防団員としての使命感、そして一人では何も出来ない焦燥感、消火活動をしながら、さまざまな感情を感じたのを覚えています。



Q3: 日々の消防団活動をどのように感じていますか。

A3 普段の訓練以外に、お祭りへの参加や、消防講習として小学校を訪問することなどがあり、様々な機会と繋がることができる活動だと感じています。消防団の活動を通じてあまり関わることのなかった地元の方々と繋がりができたことは大変有意義に感じています。

Q4: 消防団活動の中で印象に残っていることはありますか。

A4 令和元年の台風19号における被害の際は、消防団の活動として消防ポンプ自動車を使用して避難勧告の広報活動を行いました。大雨の中、長時間にわたる活動で大変でしたが、直接地域貢献に参加できたことはいい思い出です。

消防団の特徴とは？

消防団は日々訓練を行いながら、災害に備えて研鑽を行っています。
消防団の特徴を生かし、地域の災害対応にあたっています。

①消防団員は、生業を営みながら活動しています。

消防団員は、普段自営業やサラリーマンなどの生業を営みながら、消防団活動を行っています。

②消防団は、災害に備え、訓練・研修・警戒活動を行っています。

消防団員は、基本操法訓練、総合防災訓練、総合水防訓練、文化財防火演習など、災害に備え様々な訓練を行っています。また、災害の防止に向け、警戒活動も行っています。

③消防団は、地域に密着した活動ができます。

消防団員は、自分の地域は自分で守るという「郷土愛護」の精神のもと活動しています。自分達の地域の特性や情報に詳しく、逸早く災害現場に駆け付けることができ、災害対応にあたることができます。また、地域防災訓練への協力や、祭礼の警戒も行っています。





調布市消防団表彰

昨年は、調布市消防団の活動に対し多くの栄誉ある賞をいただきました。



令和元年台風19号における災害対応による表彰

台風第19号の接近に際し、調布市消防団が警戒巡視、避難誘導、人命救助、排水活動等、積極果敢に水防活動を実施した功績に対して、表彰されました。



●水防功労者
国土交通大臣表彰



●総務省消防庁長官表彰記念楯



●総務省消防庁長官表彰



●防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞し
長友市長を表敬訪問する小津団長

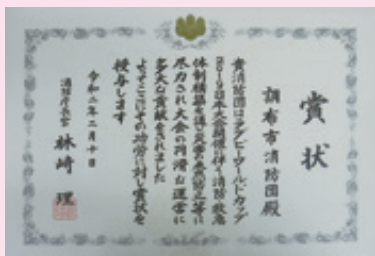


左:小津団長 中:安倍前首相 右:武田前防災担当大臣



ラグビーワールドカップ2019(TM)日本大会消防特別警戒に係る消防庁長官表彰

ラグビーワールドカップ2019(TM)日本大会において、東京スタジアムで開催された全8試合で、調布市消防団が消防特別警戒を実施した功労が認められ表彰されました。



●総務省にて小津団長が授与式に出席しました。



小津消防団長及び熊澤副団長が藍綬褒章を受章

藍綬褒章は、多年消防業務に従事し、その功績が顕著であり、他の模範と認められる消防団員に授与されるものです。



●小津団長 令和2年春の褒章



●熊澤副団長 令和2年秋の褒章

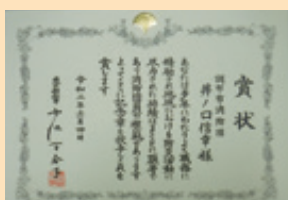
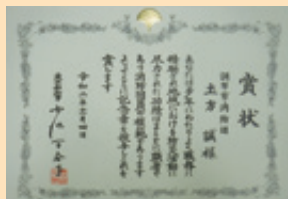


東京都消防褒賞を受賞

令和2年11月4日付けで土方第7分団長と井ノ口第8分団長に対し東京都知事から東京都消防褒賞が授与されました。

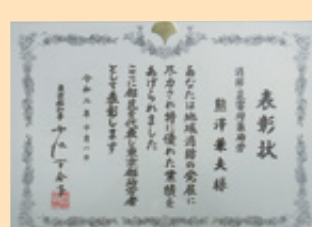


左:井ノ口第8分団長 右:土方第7分団長



東京都功労者表彰を受賞

令和2年10月1日付けで熊澤副団長に対し東京都知事から東京都功労者表彰が授与されました。



●東京都功労者表彰を受賞した
熊澤副団長

令和3年の主な予定

（予定は変更される場合があります。）
各行事の詳細は消防団事務局までお問い合わせください。

12月25日～31日

歳末特別警戒

11月9日～15日

秋の火災予防運動・警戒

10月中旬

総合防災訓練

9月下旬

北多摩地区消防大会

5月中旬

総合水防訓練

4月末日

機関員訓練・規律訓練

4月1日

消防団任命式

3月1日～7日

春の火災予防運動・警戒

3月1日

機械器具特別点検

2月28日

消防ポンプ車操縦技能講習会

1月27日

文化財防火演習

1月10日

出初式

規律訓練

令和2年7月12日に部隊行動を迅速確実にし厳正な規律を身につけるため、調布消防署において、規律訓練を実施しました。



救命ボート運用訓練

令和2年9月13日に市民プールにて救命ボート運用訓練を実施しました。消防団の水害対策強化として、救命ボート2艇、救命胴衣150着を追加配備しました。

火災初動対応訓練

火災現場における初動対応の実技訓練を実施。



消防ポンプ自動車が新しくなりました。

令和2年2月20日に第7分団と第12分団、令和2年11月16日に第6分団と第13分団の新しいポンプ車の引渡式を実施しました。なお、旧ポンプ車は日本消防協会の消防車両等国際援助事業を通じて海外に寄付しています。

第7分団・第12分団引渡式



ベトナム社会主義共和国で活躍する 第11分団旧消防ポンプ車



第6分団・第13分団引渡式



東京消防庁 公式アプリ



東京消防アプリ

検索

詳しくは、東京消防庁ホームページをご覧ください。

ダウンロードはこちら



調布市消防団 応援事業

調布市消防団の団員と、その御家族を応援して頂ける **お店を募集します。**

地域防災の要である消防団員とその活動を支えている御家族を応援するため、調布市では「調布市消防団応援事業」を行っています。市内事業所等の皆様に、ぜひ、「消防団応援の店」として御協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

◆お申込み先 調布市地域情報ポータルサイト「ちょうふどっとこむ」ちょうふどっとこむ事務所 TEL.042-487-4282

◆お問い合わせ先 調布市総合防災安全課 ☎ 042-481-7348

防災・安全情報メールに登録を！

登録されたパソコンや携帯電話に下記の情報が配信されます。

- 市からのお知らせ
- 気象情報
- 地震情報
- 災害情報
- 防犯情報

◆登録方法 下記アドレスまたは右のQRコードに空メールを送信して下さい。
c-bousai@sg-m.jp

問い合わせ：調布市総合防災安全課 042-481-7346



消防団員 募集！

調布市消防団と地域のみなさまがあなたの力を待ち望んでいます！

■お問い合わせ 調布市消防団事務局
(調布市役所総合防災安全課内)

☎ 042-481-7348



入団資格……………
調布市に居住又は勤務しており、
年齢18歳以上の健康な方